授業科目名	心理学特講Ⅰ（テキストにない心理学）	大学名	白鷗大学
科目区分		開講時期	後期（９月２３日～２月４日）
学部・学科等	教育学部心理学専攻	曜日	木曜日
必修・選択区分		時限（時間）	２時限（１０時４０分～１２時１０分）
標準対象年次	２学年以上	授業形態	講義
単位数	２単位	授業会場	本校舎
担当教員名	仁平　義明		
電話番号（代表者名）	0285-22-1111	e-mail アドレス	gakumu@ad.hakuoh.ac.jp
オフィスアワー	特に設けず，e-mail や電話で予約を取ってから，質問や相談に応じる。		
授業の概要	＜授業の目標及びねらい＞ 最近の心理学の進歩が，これまでの一般社会やときには心理学界で常識とされてきたものとは異なる事実を明らかにしてきたことを知り，つねに新しいエビデンスに基づいて問題を考えようとする態度を形成する． ＜授業内容と具体的な進め方＞ ・心理学入門のテキストで扱われる基本的な事項の多くは 50 年前，ときには 100 年前の知見や考えである．フロイトの精神分析学は 100 年前の思想であり，投映法のロールシャッハテストは 90 年以上も前の検査である．パブロフの古典的条件づけは 80 年以上前の研究，社会心理学の代表的なトピック，アッシュの同調研究は 60 年以上前，ミルグラムの服従の研究は 50 年前のものである．心理学は，その後の長い間に進歩がなかったわけではない． ・通常の心理学のテキストにはない「その後の心理学」，主として 2,000 年以降の心理学がどのようなことを明らかにしたかについて講義する． ・日常の世界で，あるいは心理学の世界で従来“常識とされてきたこととは異なる事実”という視点からの講義でもある． ・人間は「誤りやすい存在」だとか「弱い存在である」などというように，こころのしくみを一面的にしか見ないのではなく．多面的にみることがいかに必要かを学習する． ＜前提とする知識・経験＞ 「基礎心理学 A」「基礎心理学 B」、または「心理学 A」「心理学 B」をすでに受講済みのこと。心理学専攻カリキュラムの中では、専攻専門科目として位置づけられる。心理学専攻の学生にとって、本講義は認定心理士資格申請の選択科目（G.臨床心理学・人格心理学）に区分される予定の科目である。資格取得希望者は、計画的な履修を行うこと。また他学部･他専攻の学生にとって､心理学専門科目である本科目の授業内容や試験の内容は､難易度が高いものと予想される｡相応の覚悟を持って履修し､充分な予習復習をすること｡ ＜授業計画＞ 詳細は Web シラバスを確認してください。 ＜教科書・参考書・教材と入手方法＞ 講義時にプリントを配布する．必要に応じて，参考図書，参考論文を紹介する． ＜成績評価方法＞ 評価方法の比率 定期試験 60%　授業内小試験 0%　レポート・課題 0%　受講態度 40% 受講態度は，授業時の作業課題の成果に基づいて評価する． ＜教員からのメッセージ＞		